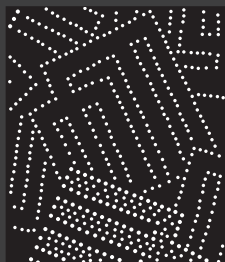


巻頭言	大転換とマインドの切り替え～総会シンポに寄せて	二場 邦彦	1
シンポジウム			2
問題提起	超高齢社会における暮らしとまちづくりと生活協同組合	浜岡 政好	3
実践報告			
I	住み慣れた地域で安心して暮らすために ～西宮市における連携・協働の取り組み	高田 忠良	15
II	「安心してらせるまちづくり」における生協の多様な関わり ～「地域支え合いモデル事業」後に見えてきた可能性	向井 忍	23
III	県内生協の協同連帯で進める福祉介護	高田 公喜	33
研究者コメント			
I	生協と地域包括ケア ～ご近所の気配り・知り合い・支え合い	川口 啓子	39
II	協同組合の展望は、地域のなかにある	上掛 利博	42
まとめにかえて	介護者支援とケアの地域資源づくり	中川 順子	45
分科会			49
第1分科会	理念と事業を結ぶもの～生協のアイデンティティ再考～	北川 太一	50
第2分科会	山形置賜の自給圏構想とは何か、生協の役割・可能性を考える	小池 恒男	58
第3分科会	私たちは福島から何を学ぶか～人間の幸福と生き方を問う	上掛 利博	68
資料			82
バックナンバー			85

本増刊号は、2015年6月27～28日にコープイン京都で開催した、暮らしと協同の研究所「第23回総会記念シンポジウム」の内容を再構成したものです。

小紋
挿
趣



表紙紋様「昼夜源氏香の図詰めの紋様」

源氏香と云えば源氏物語に由来しますが、発生は平安時代ではなく江戸時代です。江戸時代に源氏物語54帖の内、桐壺と夢浮橋を除いた帯木から手習までの52帖の名前をとった「源氏香52帖」と呼ばれる組香がつくられ、このことにより香道が確立されました。飛鳥時代の香の伝来から、香は、宗教的儀式に用いた供香や移香、聞香など、様々な楽しみ方をされてきました。それから500年近く経過した現在でも、香を楽しむという日本人のDNAが我々の中に脈々と流れています。この高齢化社会を、経済や社会環境からばかり考えるのではなく、日本人の本質、心で考えてみてはどうでしょうか。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）